

盛り上がったパーティーのあとで。ティーロとナオキが片づけをしています。

Naoki : **Wem gehört der Schirm, der da unter dem Stuhl liegt?**

Thilo : Er gehört Hanna!

Naoki : Und das Handy, das da auf dem Tisch liegt?

Thilo : Das ist meins. Und das hier ist Andrés Mütze.

Naoki : Wer ist André?

Thilo : André ist der Student aus Paris,
den ich dir vorgestellt habe.



Naoki : Ach ja! Und dieser Schal gehört seiner Freundin Emma,
mit der ich getanzt habe.

Vokabeln 語彙をチェックしよう

André アンドレ (男性名) (★ドイツ語読みは [andré: アンドレー], フランス語読みは [ãdré アンドレ])

Andrés アンドレの (★「人名+s」で「誰々の」)

Emma エマ (女性名) (★ドイツ語読みは [éma エマ], フランス語読みは [emmá エマ])

e Freundin 女友達, ガールフレンド

gehören (…1 が…3 に) 属する, (…3 の) ものである (英 belong to)

getanzt < tanzen 踊る

s Handy [héndi ヘンディ] 携帯電話 (★英単語から作られたドイツ語)

liegen …にある, 横たわっている (英 lie)

meins 私のもの, 僕のもの (= mein[e]s) (★中性 1 格の形。男性 1 格は meiner, 女性 1 格は meine)

e Mütze (縁のない) 帽子 (英 cap)

Paris [pari:s パリース] パリ (地名)

r Schal マフラー, ショール

r Schirm 傘 (英 umbrella)

r Stuhl 椅子 (英 chair)

r Tisch テーブル, 机 (英 table)

vorgestellt < vor|stellen (…3 に…4 を) 紹介する

関係代名詞 (英 who, which, that)

das (中性 1 格)

den (男性 4 格)

der (男性 1 格; 女性 3 格)

die (女性 1 格)

★関係代名詞に導かれている文では, 定動詞が文末に置かれている。

Nach einer wilden Party. Thilo und Naoki räumen auf.

ナオキ： あそこの椅子の下にある傘は誰の？

ティーロ： ハンナのだよ。

ナオキ： それからあそこのテーブルの上の携帯電話は？

ティーロ： それは僕の。それでここのこれはアンドレの帽子だ。

ナオキ： アンドレって誰？

ティーロ： 紹介してあげたパリからの学生だよ。

ナオキ： ああそうだった！ で、このマフラーは僕がいっしょに踊った彼の彼女のエマのだね。

Sprachgefühl 言葉の感覚

「椅子の下にある傘」, 「テーブルの上にある携帯」, 「君に紹介した学生」のように、関係代名詞は、名詞を文で修飾するときに使います。



Partnerübung ペアで練習しよう

イタリアックの語句を自由に置き換えてみましょう。

32

Szene 1 あそこの椅子の下にある傘は誰の？

Wem gehört *der Schirm*, der da unter dem Stuhl liegt?

Er gehört *Hanna*!

der Hut, der
die Tasche, die
das Buch, das
das Handy, das

Lina / Jasmin*
Ben / Elias**

* [ヤスミン]

** [エリマス]

33

Szene 2 アンドレは紹介してあげたパリからの学生だよ。

André ist *der Student aus Paris*, den ich dir vorgestellt habe.

Ach ja! Ich erinnere mich.

Anna – die Studentin aus Wien, die / John – der Lehrer aus London, den
Frau Rossi – die Frau aus Rom, die / Herr Müller – der Mann aus Berlin, den

Schlüsselsatz キーセンテンス

あそこの椅子の下にある傘は誰の？

Wem gehört der Schirm, der da unter dem Stuhl liegt?

- ➡後半の文は **der** という関係代名詞で始まっています。その形と用法がここでのポイントです。ドイツ語では、「傘」→「あそこの椅子の下にある傘」のように、文で名詞を修飾する場合、英語と同じように、関係代名詞を用います。

Grammatik 言葉のかたち ③ 関係文

■ 関係代名詞

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	deren
2 格	dessen	deren	dessen	deren
3 格	dem	der	dem	denen
4 格	den	die	das	die

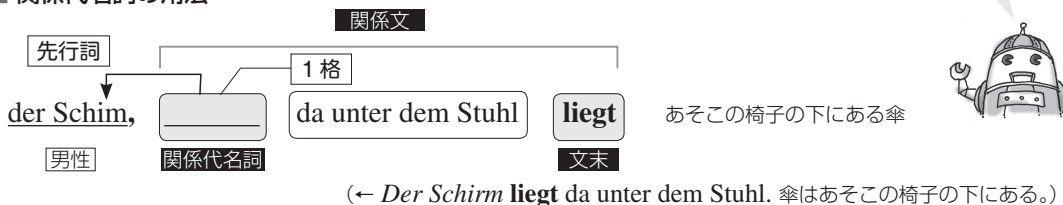
ほぼ定冠詞と同じだよ！



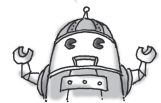
- ➡ドイツ語の**関係代名詞**は上の表のように格変化します。

- ➡関係代名詞は特定の名詞（＝**先行詞**）に別の文を結びつける役割を持ちます。関係代名詞によって導かれる文のことを**関係文**と呼びます。

■ 関係代名詞の用法



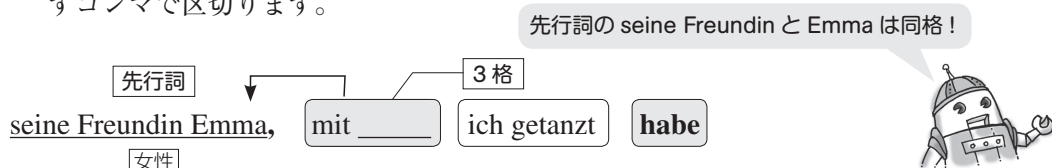
関係文も副文の仲間だよ。



*Student は男性弱変化名詞 (※ 11 頁)

➡ 関係代名詞の性・数は先行詞の性・数に一致し、格は関係文中での役割に応じて決まります。

➡ 関係文では、関係代名詞を文頭に、定動詞を文末に置きます。関係文と主文の間は必ずコンマで区切ります。



僕がいっしょに踊った彼のガールフレンドのエマ

(← Ich **habe** mit seiner Freundin Emma getanzt. 僕は彼のガールフレンドのエマといっしょに踊った。)

➡ 関係代名詞を前置詞とともに用いる場合、「前置詞＋関係代名詞」の形で関係文の最初に置きます。



(← Die Tochter der Frau **spielt** gut Fußball. その女性の娘さんはサッカーが上手だ。)

➡ 関係代名詞の 2 格 (英 *whose*) は、「関係代名詞＋名詞」の形で関係文の最初に置きます (この場合の名詞に冠詞は付きません)。

■ wo による関係文

das Café, **wo** (= in dem) wir uns immer treffen 私たちがいつも会う喫茶店

➡ 先行詞が「場所」の場合、**wo** が用いられることがあります。

■ wer, was による関係文

Wer etwas weiß, soll die Hand heben. 何か知っている人は手をあげてほしい。

Das ist **alles, was** ich weiß. それが私の知っているすべてです。

➡ **wer** 〈…する人〉と **was** 〈…すること・もの〉は、特定の先行詞なしで用いられます。ただし、**was** はしばしば *das, alles, etwas, nichts* などを先行詞としても用いられます。



Sprechen 話してみよう

Dialog 1 関係代名詞の 4 格を使って関係文の練習をしてみましょう。

Wie teuer ist **die Tasche, die** du dir kaufen willst?

Sie ist nicht so teuer.

die Tasche, **die**

der Computer,

das Buch,

die Uhr,

das Sofa,

der Mantel,

(r) → **den**
(e) → **die**
(s) → **das**



Dialog 2 今度は「前置詞 mit + 関係代名詞 3 格」を使って会話練習をしてみましょう。

Wie heißt **der Student, mit dem** du eben geredet hast?

Er heißt **Paul**.



Paul

der Student, mit **dem**

die Japanerin, mit

Yumi

das Kind, mit

Nina



(r) → **dem**
(e) → **der**
(s) → **dem**

der Japaner, mit

Naoki

die Studentin, mit

Hanna

37

Kulturecke 文化コーナー

Flughafen

Der Frankfurter Flughafen ist der größte Flughafen in Deutschland. Und die größte deutsche Fluggesellschaft heißt „Lufthansa“.



空港

フランクフルト空港はドイツ最大の空港。そしてドイツ最大の航空会社はルフトハンザだ。



Bahnhof

Der Frankfurter Hauptbahnhof. Links ist ein ICE (Intercity-Express*). Er ist der schnellste Zug in Deutschland.

駅

フランクフルト中央駅。左に見えるのは ICE (インターシティー・エクスプレス)。ドイツ最速の列車だ。

38

Deutsch im Alltag ドイツ語今日もどこかで

Schönes Wochenende! よい週末を！

Schöne Ferien! よい休暇を！

Danke, dir auch! / Danke, gleichfalls! ありがとう、あなたもね！

* 旧正書法では Intercity-Expresß

39



Hören 聞いてみよう

どれが誰のものでしょうか。ハンナとナオキの会話を聞いて、イラストと名前を線で結んでみましょう。

(1)



(2)



(3)



(4)



Elias

Julia

Lukas

Marie

Naoki



Nach der Party

Hanna, die schon früh nach Hause gegangen ist, hat ihren Schirm vergessen. Und André aus Paris, der für ein Jahr in Trier studiert, hat seine Mütze auf dem Sofa liegen lassen*. Seine Freundin Emma, die mit Naoki und Paul getanzt hat, kommt auch aus Paris.

*旧正書法では liegenlassen

früh (時間が) 早い Trier [トリーア] トリア (地名) liegen lassen 置き忘れる (★過去分詞も同形)

richtig falsch

(1) ハンナは最後までパーティーに残っていました。

☐
☐

(2) アンドレは1年間トリアで勉強します。

☐
☐

(3) エマはローマの出身です。

☐
☐

Einen Schritt weiter 先に進もう

■ 冠飾句

die auf dem Sofa schlafende Katze ソファーの上で眠っている猫

➡現在分詞や過去分詞を含む句を名詞の前に置き、名詞を修飾することができます。冠飾句と呼ばれます。分詞に格語尾が付きます。

冠飾句はふつう書き言葉でしか使われない。話し言葉では関係文を使うよ。

例：die Katze, die auf dem Sofa schläft (ソファーの上で眠っているネコ)

■ ドイツ語の序数

1. erst-	2. zweit-	3. dritt-	4. viert-	5. fünft-
6. sechst-	7. siebt-	8. acht-	9. neunt-	10. zehnt-
11. elft-	12. zwölf-	13. dreizehnt-	14. vierzehnt-	15. fünfzehnt-
16. sechzehnt-	17. siebzehnt-	18. achtzehnt-	19. neunzehnt-	20. zwanzigst-
21. einundzwanzigst-		30. dreißigst-	40. vierzigst-	

➡「…番目」のように順序を表す場合、序数を用います。19までは基数に -t を、20以上は -st を付けて作ります。太字は例外です。序数にはふつう形容詞と同じ格語尾が付きます。



Schreiben 書いてみよう

1 () 内に適切な関係代名詞を入れてみましょう。

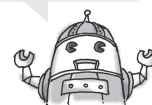
- (1) Der Vogel, _____ da am Himmel fliegt, ist sehr groß!
- (2) Meine Tante, _____ in Berlin wohnt, hat morgen Geburtstag.
- (3) Ich lese gerade einen Roman, _____ sehr interessant ist.
- (4) Den Brief, _____ ich gestern geschrieben habe, bringe ich heute zur Post.
- (5) Klaus hat sich neue Schuhe gekauft, _____ sehr teuer waren.

2 関係代名詞を使って、次の二つの文をつなげてみてください。下線部の語句を先行詞にしてください。

- (1) Meine Cousine heiratet morgen. / Meine Cousine wohnt in Bremen.

- (2) Der Text ist sehr schwierig. / Wir müssen den Text ins Deutsche übersetzen.

ins Deutsche übersetzen で「ドイツ語に翻訳する」。



3 与えられた語句を参考にドイツ語文を作ってみましょう。関係文を使ってください。

- (1) ドイツ語を勉強している日本人はナオキという名前だ。

der Japaner / Naoki / heißen // Deutsch / lernen

- (2) ハンナが焼いたケーキはとてもおいしかった。

der Kuchen / sehr / lecker / sein (過去形で) // Hanna / backen (現在完了形で)
